

確かな学力・豊かな心・健やかなからだをもち、
未来をたくましく生き抜く生徒の育成

いちばん忙しい人間が、
いちばんたくさんさんの時間をもつ

二月も下旬にさしかかりました。寒いといつても、日中の暖かさは、春を感じさせるものとなっております。

市内では、小学校や保育園などを中心に、インフルエッジがまた増えつつあるようです。須木中では、今は誰も罹っていません。県立一般入試までこのままです。

『時間』とはおもしろいもので、楽しい時間はあるという間に過ぎますが、いやなことやつらいことをしなければならぬ時間は、とても長く感じるものです。

真剣に何かに取り組んでいて、すっかり時間の経つのを忘れていたという経験はありませんか。ハッと時計を見て、「ああ、もうこんな時間か」と気がついたりします。

そんなとき、時間が一刻一刻と過ぎていくを意識してしまいませんか。(物理的な)『時間』は、まるで止まっているかのように感じられるものではないでしょうか。

ものごとへの取り組みかたで、時間の進みかたが違うならば、**進んでいくのは『時間』ではなく、私たちがやるべきです。**

過ぎた時間は絶対に戻ってこないということは事実です。だから、「あと*日あればなあ」とか「あのときこうやっておけばよかった」と思っても、どうしようもありません。

だからこそ、限られた時間で、その時その時を大切にしながら、充実した時を過ごさないといけないのです。

皆さんはあと一ヶ月で進学したり、進級したりします。一人一人やるべきことは分かっていると思います。それを真剣に、夢中でやりたいものですね。

時が止まったかと思えるほどに・・・

《将来を考える～立志式》

2月5日に小中合同立志式を、須木のふるさとセンターで行いました。中学2年生と小学5年生が、今の自分を見つめ、将来を展望する式です。

中学生が立志の誓いを述べたあと、小学生から順番に、自分の将来の夢や決意を発表しました。中学生は、自分の心にぴったりの言葉を選び、それをもとに発表しました。

小学生も中学生も、ステージで聴衆を前にして、堂々とした発表でした。

引き続き、日向市キャリア教育支援センター長の**水永 正憲**氏のお話を聞きました。演題は「君たちはどう生きるか」で、これからの社会の変化を見据えつつ、働くことを深く考えるお話でした。仕事というものは、働くことで人に喜んでもらえなければ成り立たない。「働くことは生きること」である。つまり、「**将来どんな職業を選ぶのか**」ではなく「**将来どんな生き方を選ぶのか**」が先になればいけないと、働く意義について教えてくださいました。

仕事を見つける視点は、①「自分は何が好きかを真剣に考える」②「どうしたら少しでも人の役に立つかを考える」③「思うとおりに就職できないことも多いことを知る」④「見つけるのではなく、必ず出会えると考える」ことの4つであると示してくださいました。

子どもたちは、14歳という人生の一つの節目に、将来に向かって何を考えなければならないか、今をどう生きるべきかを考える良い機会になったと思います。



《須木の未来を語る会～須木の未来像は》



2月12日に、NPO法人「i-さいと」の、**井上さん、古賀さん**が見えられて、3年生対象に“須木の未来を語る会”を行いました。KJ法を使いながら須木の現状をとらえ、これからどうすれば魅力ある須木になるかを、自分のこととして真剣に考えました。

ふるさと須木の中で、自分達がどんなことを期待され、どのような役割を担っていかなければならないのかを考える機会になりました。